2023年3月期　決算補足資料

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所プライム市場：9037

目次

Ⅰ．2023年3月期 決算概況
Ⅱ．2024年3月期 計画
Ⅲ．2023年3月期 決算実績
Ⅳ．近物レックスの現況と今後の戦略
Ⅴ．参考情報

BUSINESS PROPOSE

HAMAKYOREX

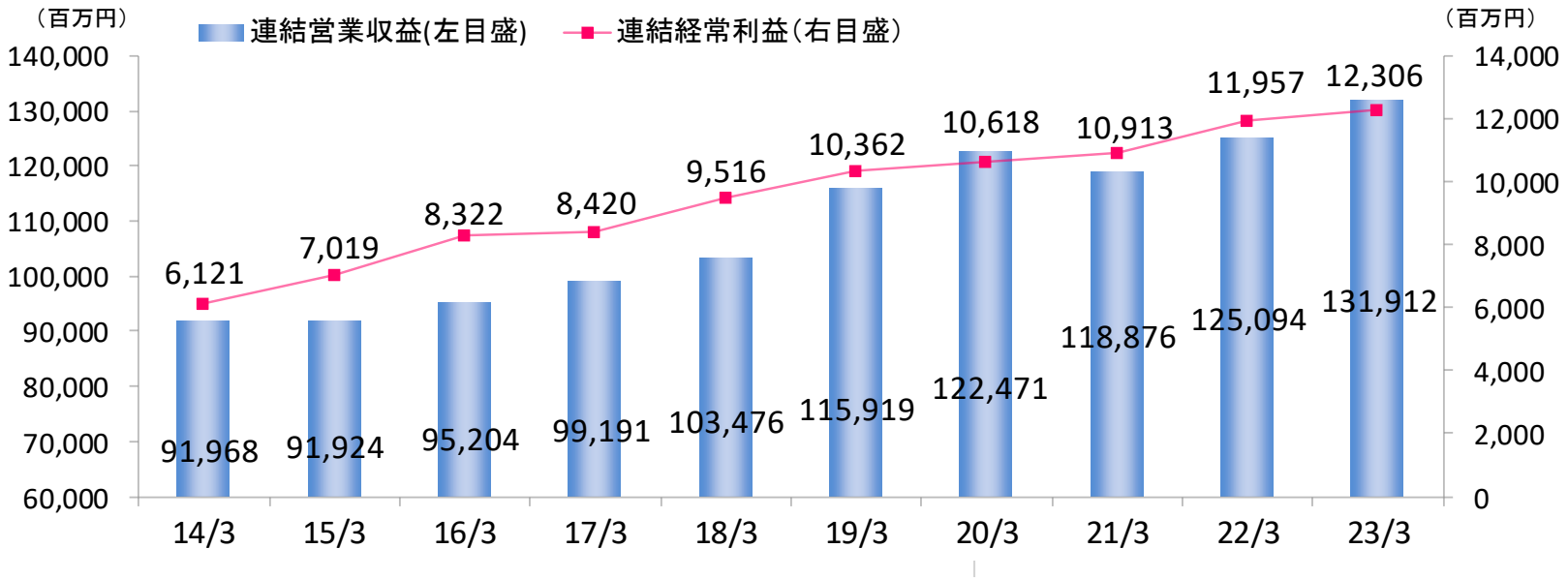
Ⅰ．2023年3月期決算概況

Ⅰ-1. 2023年3月期の業績

営業収益は、1,319億　12百万円　（前年同期比　+5.4% ）
経常利益は、　123億　　6百万円　（前年同期比　+2.9% ）の 増収増益

項目	対前期比	対計画比	対前期比増減要因
営 業 収 益 131,912百万円	+6,817百万円 (+5.4%)	△87百万円 (△0.1 %)	・物流センター事業での運営の充実と新規稼働したセンターが順次業績に寄与 ・M＆A効果
営 業 利 益 11,548百万円	+434百万円 (+3.9%)	△351百万円 (△3.0 %)	・物流センター事業で生産性向上及び収益増加 ・M＆A効果
経 常 利 益 12,306百万円	+349百万円 (+2.9%)	△93百万円 (△0.8 %)	
親会社株主に帰属する当期純利益 7,400百万円	+283百万円 (+4.0%)	+100百万円 (+1.4%)	

Ⅰ-2. 業績推移



	連結業績
営業収益	増　収（過去最高）
営業利益	増　益（過去最高）
経常利益	増　益（過去最高）
親会社株主に帰属する当期純利益	増　益（過去最高）

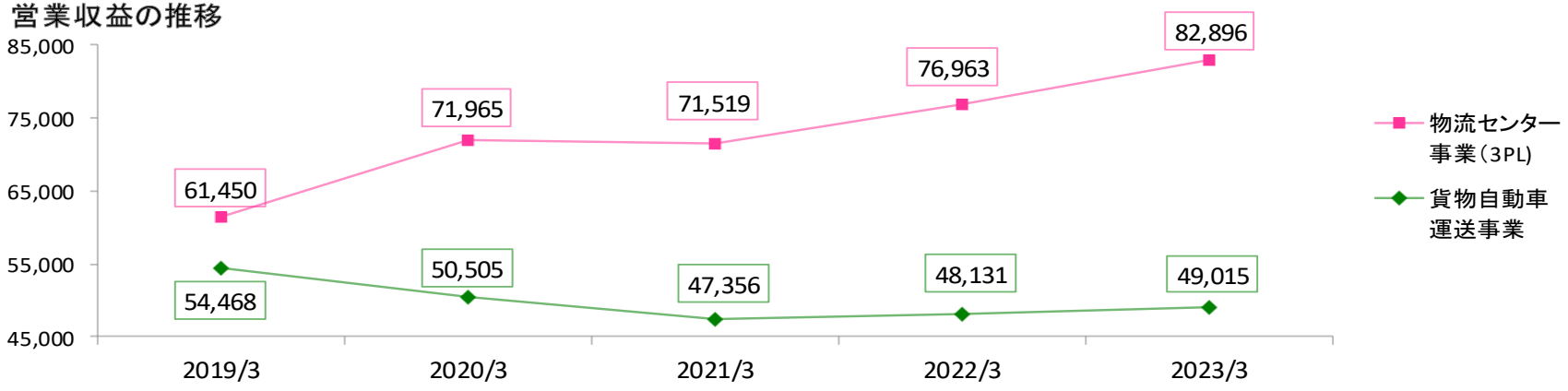
HAMAKYOREX

Ⅰ-3. セグメント情報の推移

（百万円）

		2019/3 (構成比:%)	2020/3 (構成比:%)	2021/3 (構成比:%)	2022/3 (構成比:%)	2023/3 (構成比:%)	増減 (増減率:%)
物流センター事業(3PL)	営業収益	61,450 (53.0%)	71,965 (58.8%)	71,519 (60.2%)	76,963 (61.5%)	82,896 (62.8%)	+5,932 (+7.7%)
	営業利益	6,576	7,732	8,243	9,310	10,015	+704
貨物自動車運送事業	営業収益	54,468 (47.0%)	50,505 (41.2%)	47,356 (39.8%)	48,131 (38.5%)	49,015 (37.2%)	+884 (+1.8%)
	営業利益	3,328	2,450	2,314	1,798	1,529	△268

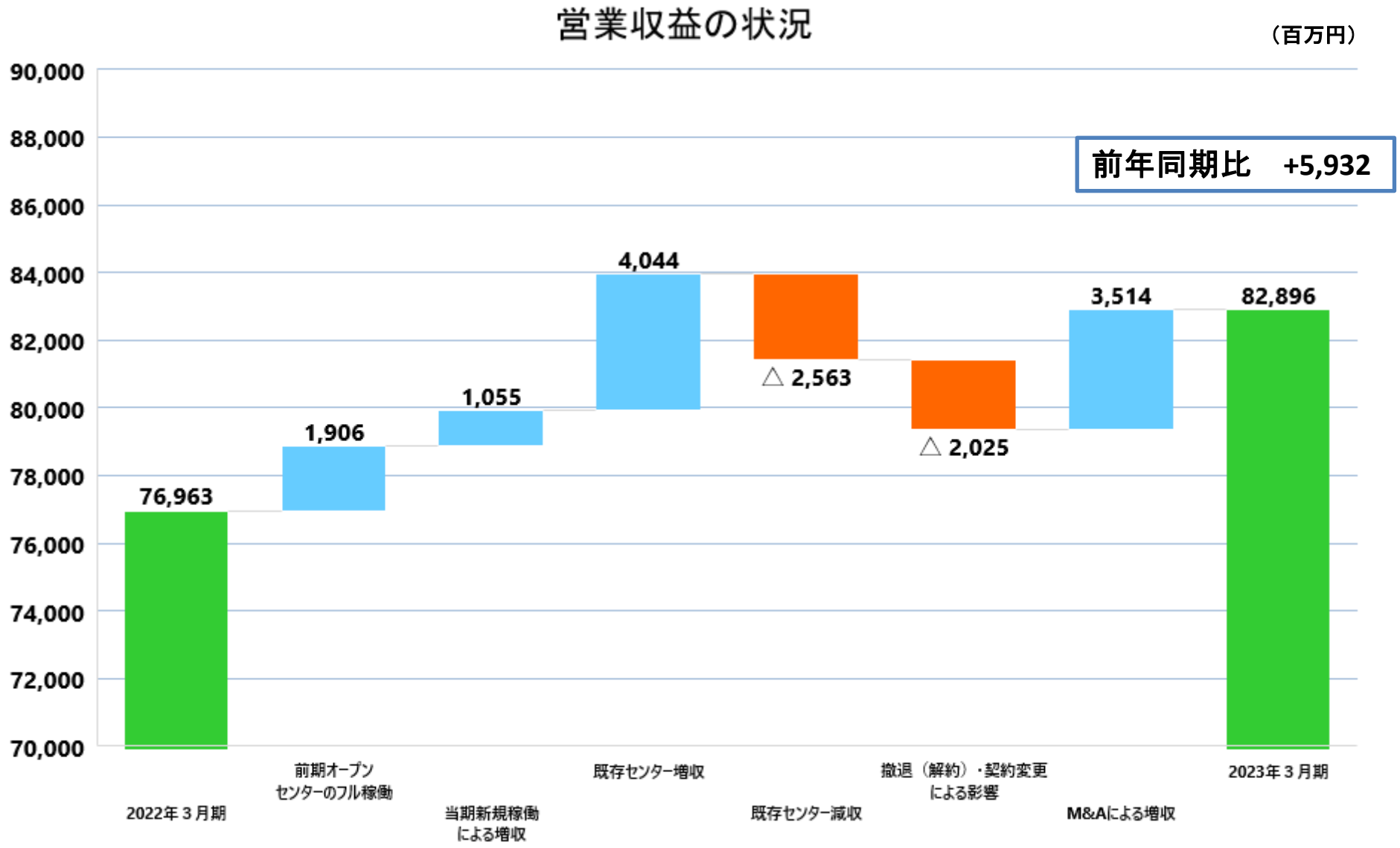
営業収益の推移



※2020年4月1日付で、当社の連結子会社である㈱ロジ・レックスが、同じく当社の連結子会社であった㈱ジェイビーエスを吸収合併したことにより、事業セグメントの変更を行っております。なお、比較のため、2020年3月期のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

HAMAKYOREX

Ⅰ-4. 物流センター事業(3PL)の概況



HAMAKYOREX

Ⅰ-5. 物流センター事業の稼働状況

●新規受託及び稼働

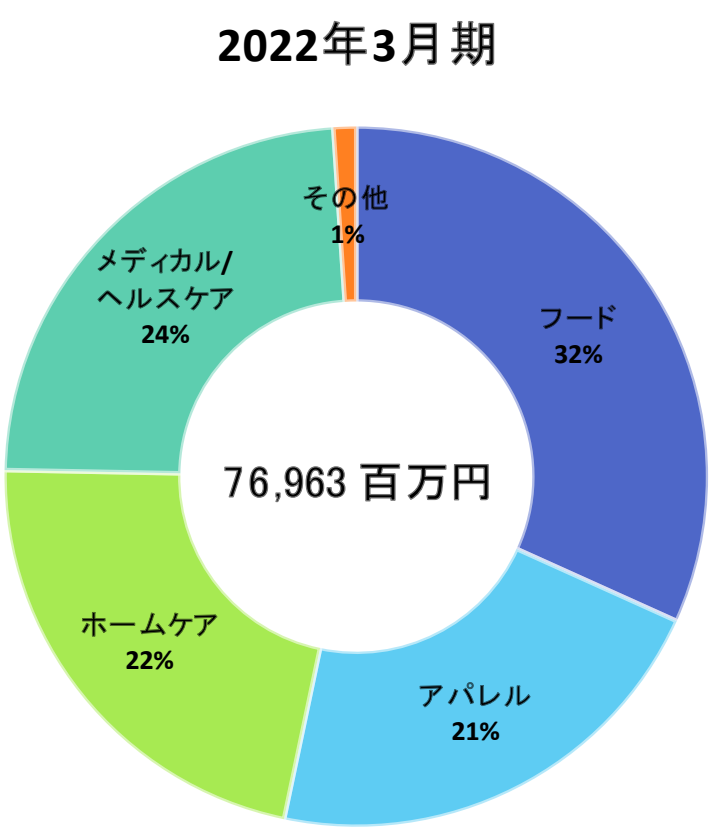
取扱品目	前期受託 未稼働	当期 受託	稼働	当期 未稼働	memo
フード		1社	1社	-	
アパレル		2社	2社	-	
ホームケア	2社	7社	9社	-	
メディカル/ヘルスケア		5社	4社	1社	
その他		0社	0社	-	
計	2社	**15社**	**16社**	1社	

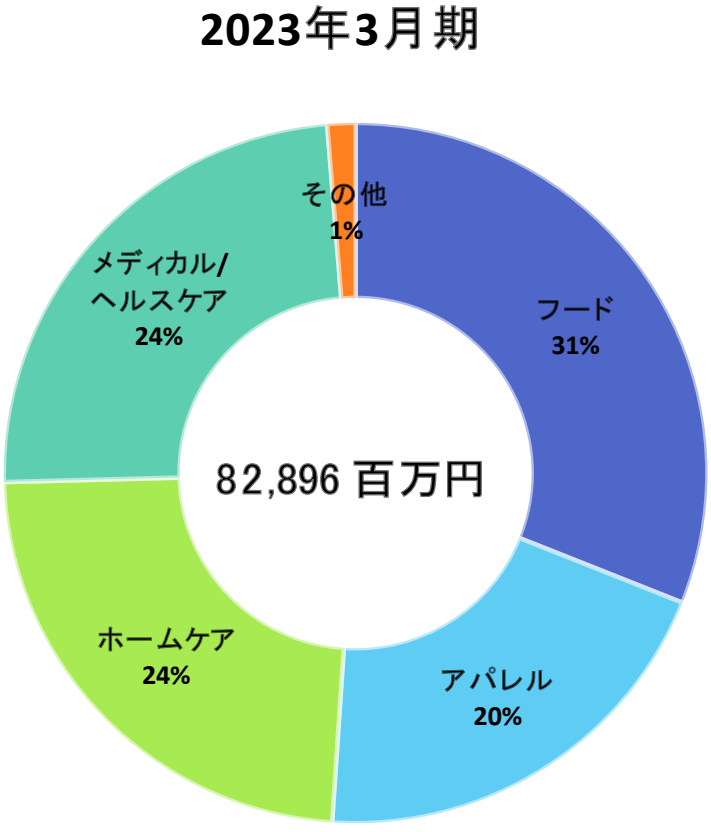
●物流センター数

2023年3月31日現在

自社センター	50	(502,272㎡)
借用センター	105	(823,912㎡)
計	155	(1,326,185㎡)

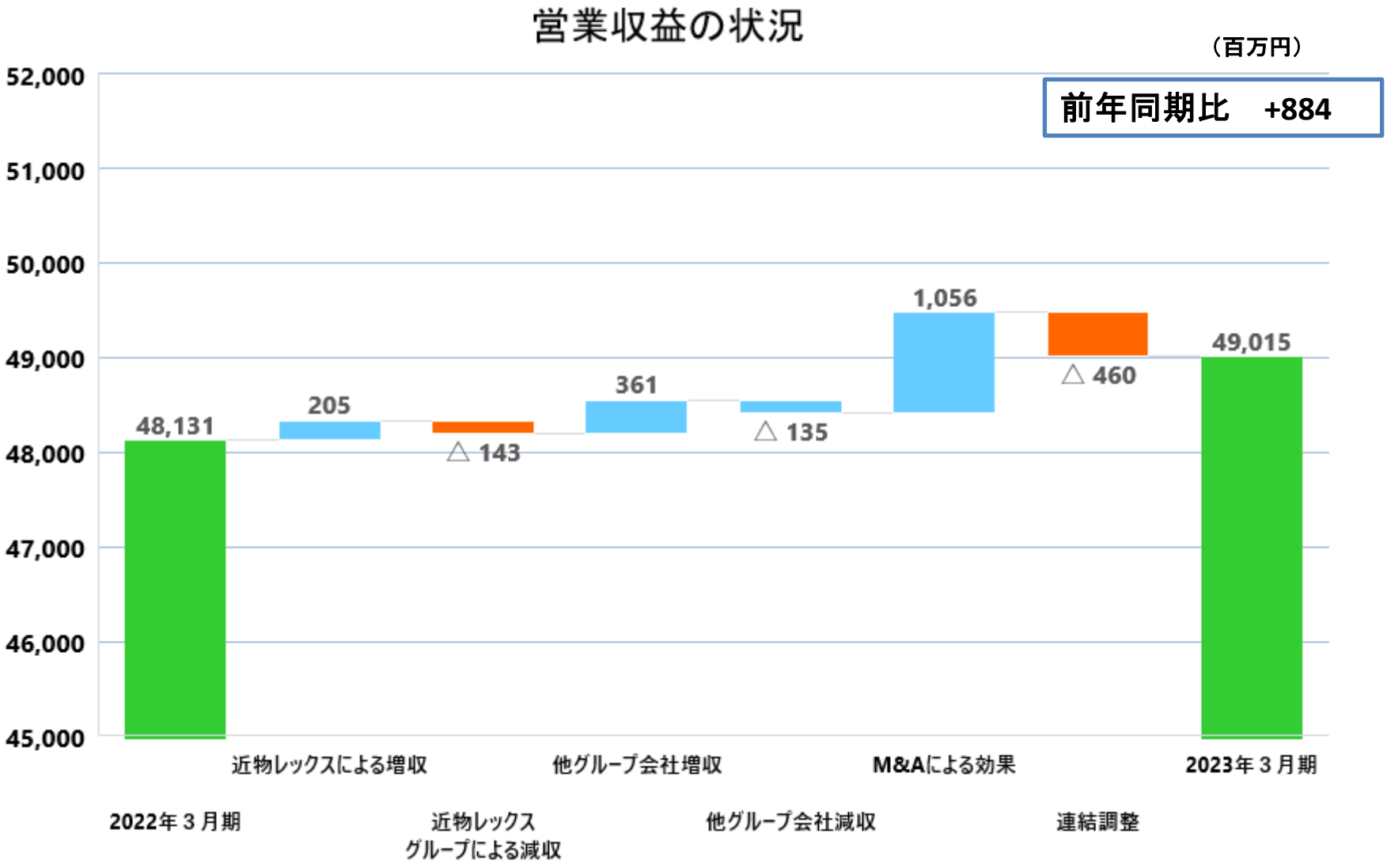
Ⅰ-6. 物流センター事業の取扱品目別売上高





HAMAKYOREX

Ⅰ-7. 貨物自動車運送事業の概況



※近物レックスグループとは、近物レックス㈱とその子会社５社です。
（都運輸㈱、三重近物通運㈱、茨城県貨物自動車運送㈱、㈱エービーエクスプレス、㈱Masse）

HAMAKYOREX

Ⅱ. 2024年3月期計画

Ⅱ-1. 2024年3月期 業績予想

（百万円）

	連結業績	
	計画	前期比（増加率）
営業収益	**139,000**	**+7,087** (+5.4%)
営業利益	**12,100**	**+551** (+4.8%)
経常利益	**12,800**	**+493** (+4.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	**7,700**	**+299** (+4.0%)
設備計画	**9,000**	***

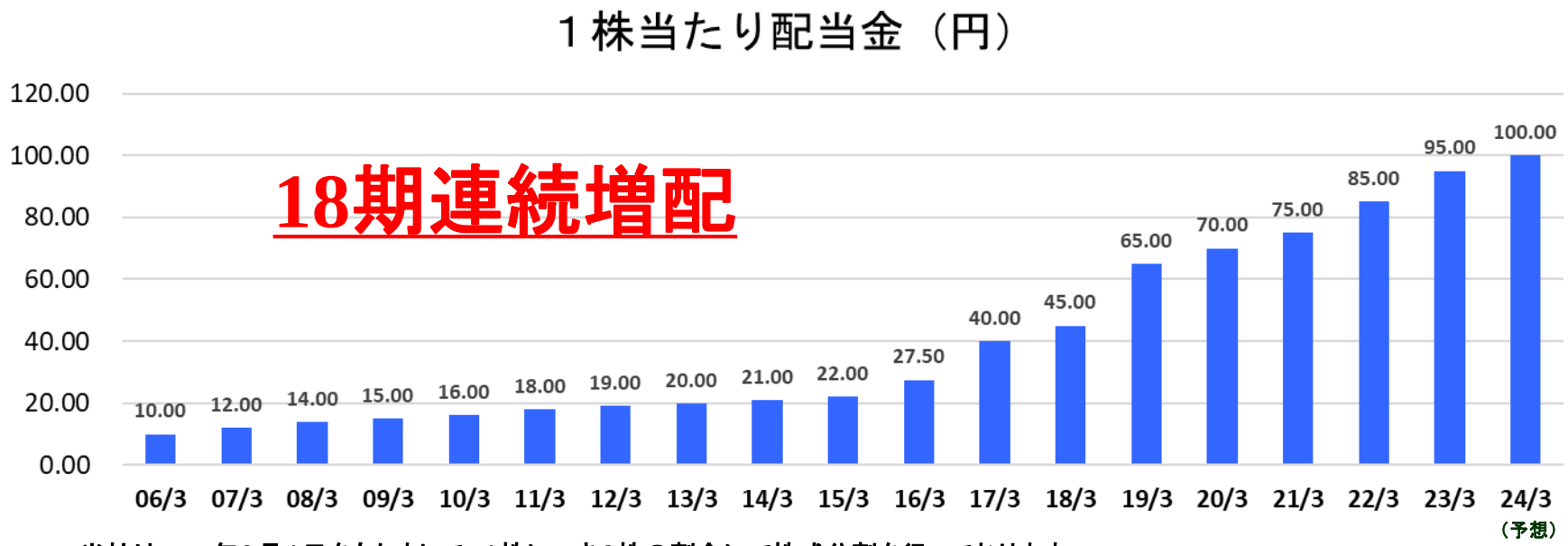
（百万円）

セグメント別業績予想		計画	前期比	（増加率）
物流センター事業	営業収益	**87,000**	**+4,103**	(+5.0%)
	営業利益	**10,400**	**+384**	(+3.8%)
貨物自動車運送事業	営業収益	**52,000**	**+2,984**	(+6.1%)
	営業利益	**1,700**	**+170**	(+11.1%)

Ⅱ－2．経営指標

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3予想
1株当たり当期純利益（円）〔EPS〕	328.01	341.69	378.84	393.92	409.85
自己資本当期純利益率（%）〔ROE〕	10.6	10.1	10.3	9.9	9.6
営業収益営業利益率（%）	8.3	8.9	8.9	8.8	8.7

※自己資本当期純利益率（ROE）は、10%以上を継続的に達成することを目指してまいります。

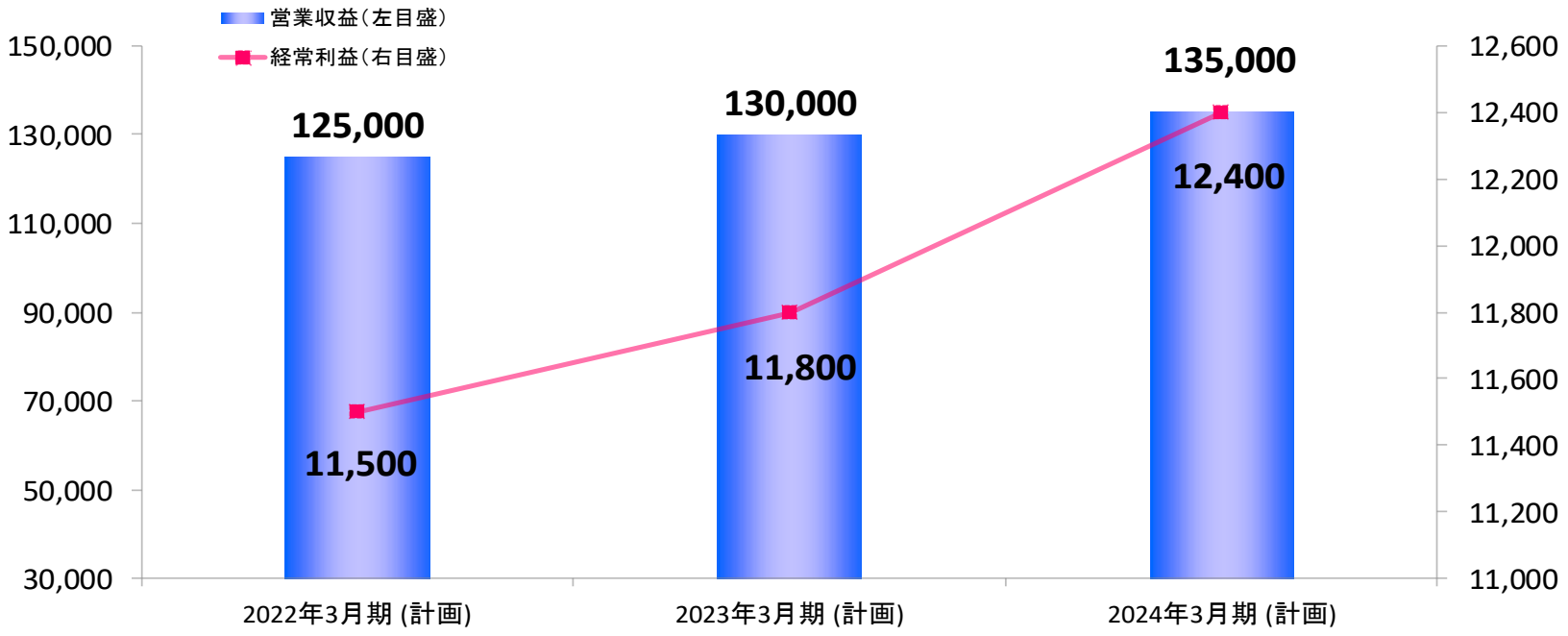


※当社は2015年９月１日をもちまして、１株につき２株の割合にて株式分割を行っております。
そのため、2006年３月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して配当金を算出しております。

Ⅱ－3. 中期経営計画

（百万円）

	2022年3月期（計画）	2023年3月期（計画）	2024年3月期（計画）
	連 結	連 結	連 結
営業収益	125,000	130,000	135,000
経常利益	11,500	11,800	12,400
親会社株主に帰属する当期純利益	6,750	6,900	7,200
1株当たり当期純利益	358.84	366.81	382.76
営業収益経常利益率	9.2%	9.1%	9.2%
設備投資計画	90億円	90億円	90億円



HAMAKYOREX

Ⅱ-4. 今後の取り組み①

１．３ＰＬ事業を軸とする事業展開

①DX推進部を新設し、物流センターの省人化

・関東の物流センターにて、物流ロボット導入により入出荷作業の一部省人化を実現

・カメラ認証技術及び自動搬送ロボットの活用により更なる省人化を目指す

②EC物流の拡大（ラストワンマイル）と自社配送の取組み

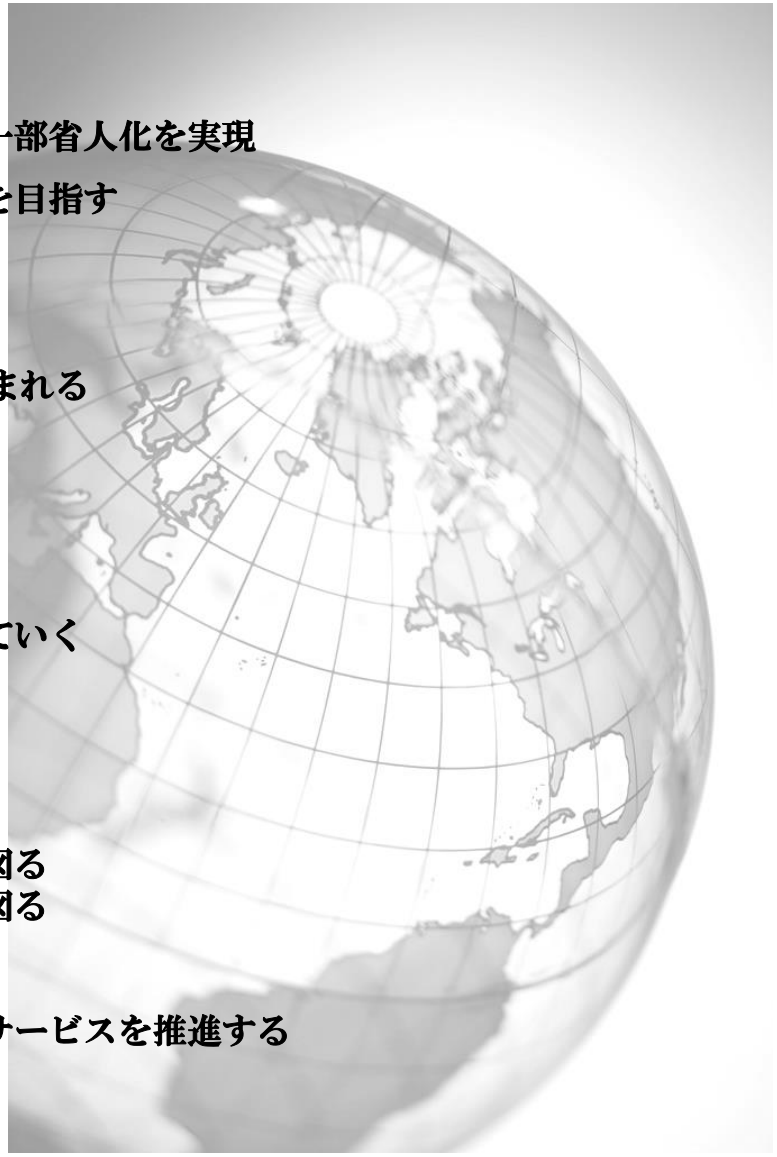
事業展開しているEC物流センターのノウハウを活かし、成長見込まれる

EC物流の受託拡大（ラストワンマイル）と自社配送を推進する

③事業採算・リスクを勘案し、積極的な設備投資を行う

・既存の物流センターにおいても省人化設備の導入を積極的に行っていく

・物流センターの自社倉庫建設を積極的に行っていく



２．３ＰＬ事業とグループ会社の融合

①近物レックスのターミナルを物流センター化し、シナジー強化を図る

②近物レックスの拠点網が充実しているエリアでのシナジー強化を図る

３．運送事業の取り組み

①近物レックスのターミナルを利用し、軽貨物車両を利用した宅配サービスを推進する

②労働環境の改善のため運賃是正の推進

Ⅱ-5. 今後の取り組み②

４．新規顧客獲得に向けた取組み

①既存の組織・職務・各関連会社にとらわれず、グループ全体での新規顧客獲得に向けた営業を行う

②物流センター事業での年間受託件数15社を目指す

５．海外戦略への取組み

①国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開を図る
②インド国内の完成車輸送の拡大とコールドチェーン物流の開発促進する

６．ESGへの取組み

①物流センター事業　　太陽光発電システム導入によるCO_2削減
入荷車両管理システムの導入による車両の待機時間削減

②貨物自動車運送事業　CO_2排出量の少ない車両の導入

③共通　　積載率のUP及び共配による車両効率の向上
倉庫施設への環境負荷低減部材の導入
（リサイクルパレット、ホームプロテクター等）

Ⅲ. 2023年3月期
決算実績

Ⅲ-1. 四半期会計期間別(３ヶ月)の業績推移

（百万円）

	第１四半期		第２四半期		第３四半期		第４四半期	
	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）
営業収益	32,547	+1,936 (+6.3%)	32,415	+1,759 (+5.7%)	34,938	+1,708 (+5.1%)	32,011	+1,412 (+4.6%)
営業利益	2,888	△25 (△0.9%)	2,739	+149 (+5.8%)	3,574	+259 (+7.8%)	2,346	+50 (+2.2%)
経常利益	3,172	+100 (+3.3%)	2,917	+225 (+8.4%)	3,716	+236 (+6.8%)	2,499	△213 (△7.9%) 注※
親会社株主に帰属する当期純利益	1,958	+158 (+8.8%)	1,705	+116 (+7.3%)	2,144	+167 (+8.5%)	1,592	△159 (△9.1%) 注※

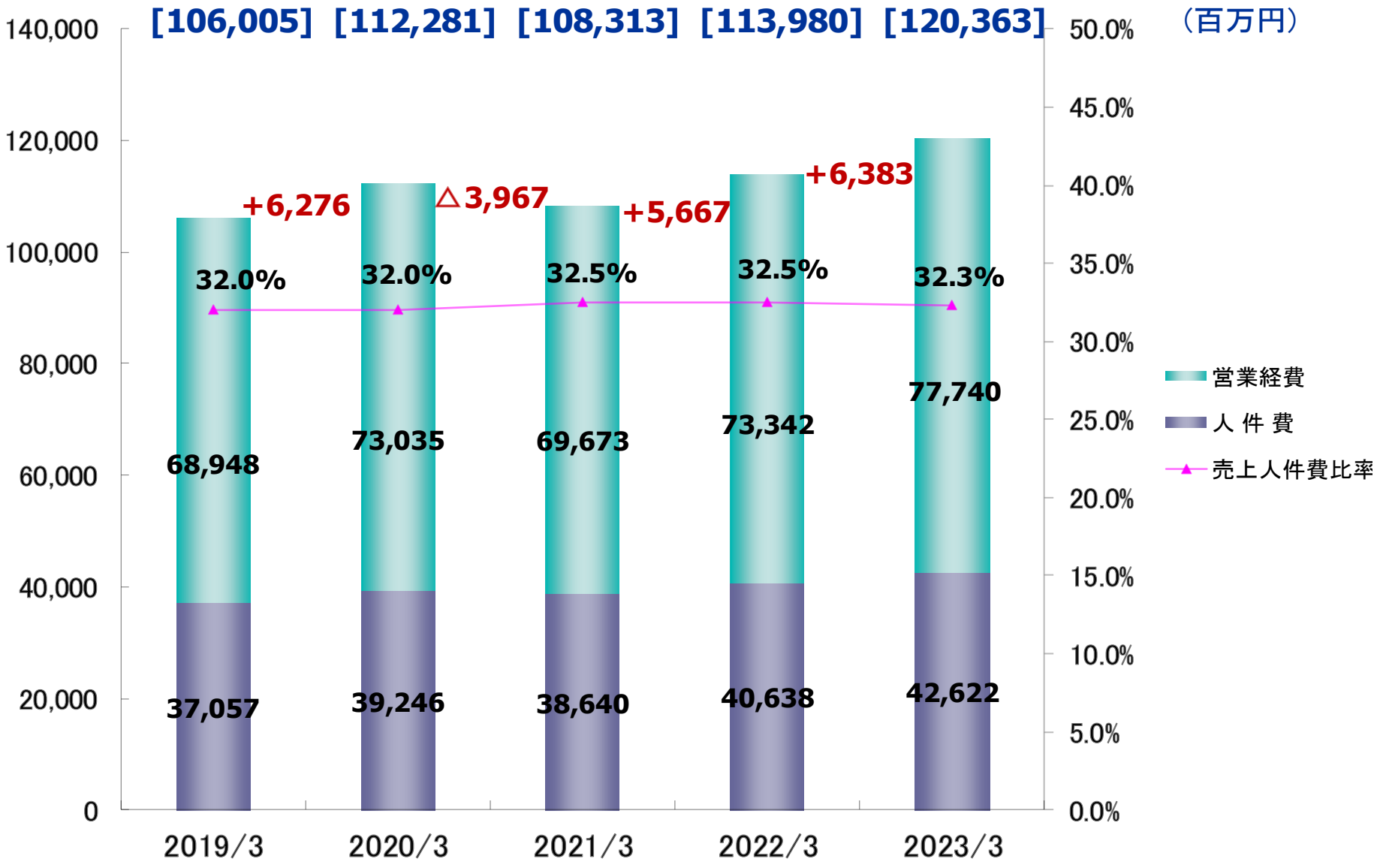
注※ 第４四半期の減益要因は、前期に建物建設に伴う助成金の取得があったためとなります。

Ⅲ-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績推移

（百万円）

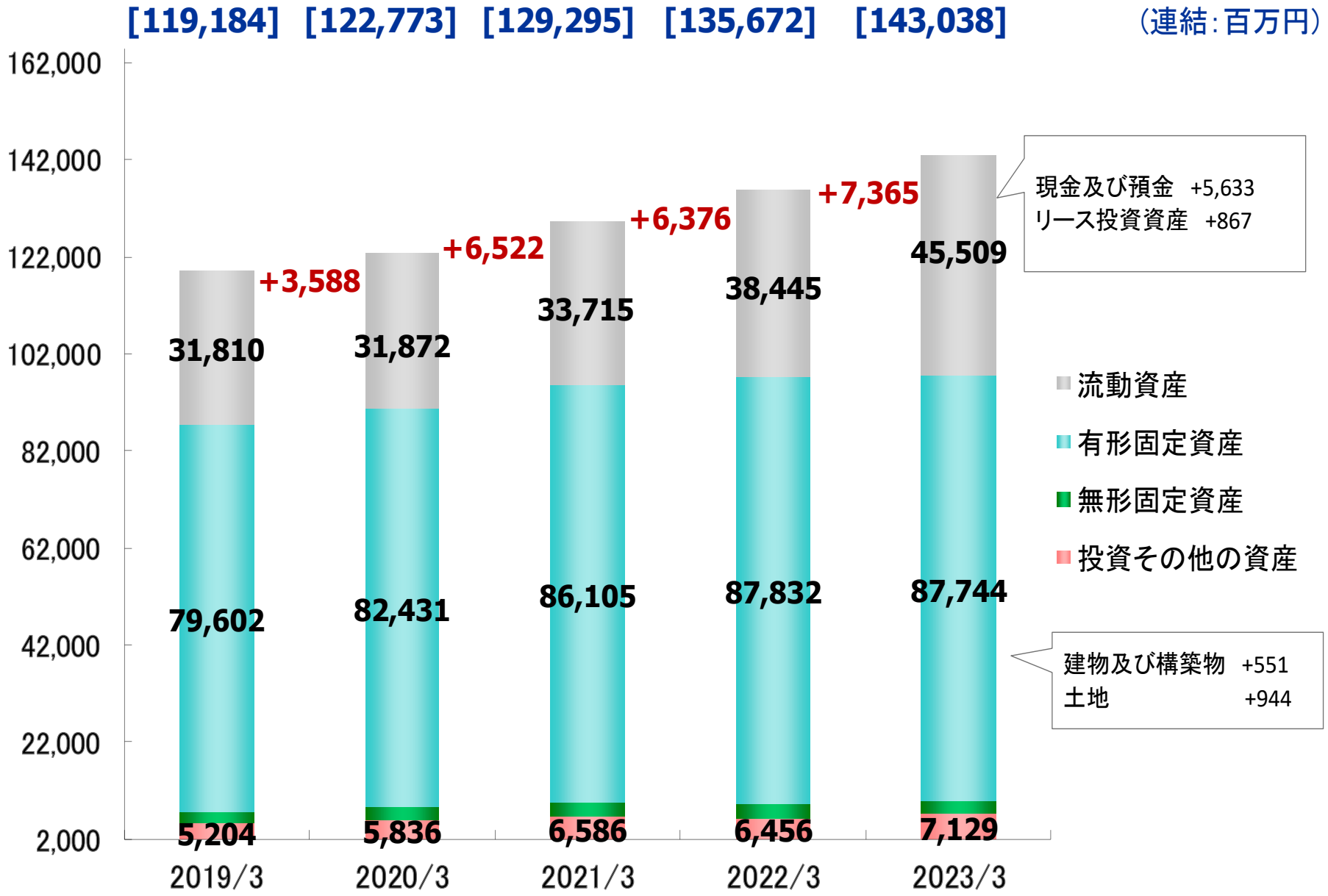
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）
物流センター	営業収益	20,356	+1,596 (+8.5%)	20,328	+1,428 (+7.6%)	22,277	+1,632 (+7.9%)	19,933	+1,275 (+6.8%)
	営業利益	2,536	+146 (+6.1%)	2,368	+185 (+8.5%)	3,033	+292 (+10.7%)	2,076	+79 (+4.0%)
貨物自動車運送	営業収益	12,190	+339 (+2.9%)	12,087	+331 (+2.8%)	12,660	+75 (+0.6%)	12,077	+137 (+1.2%)
	営業利益	350	△172 (△33.0%)	370	△35 (△8.6%)	540	△32 (△5.7%)	268	△28 (△9.6%)

Ⅲ-3. 経費・人件費



HAMAKYOREX

Ⅲ-4. 貸借対照表＜資産＞

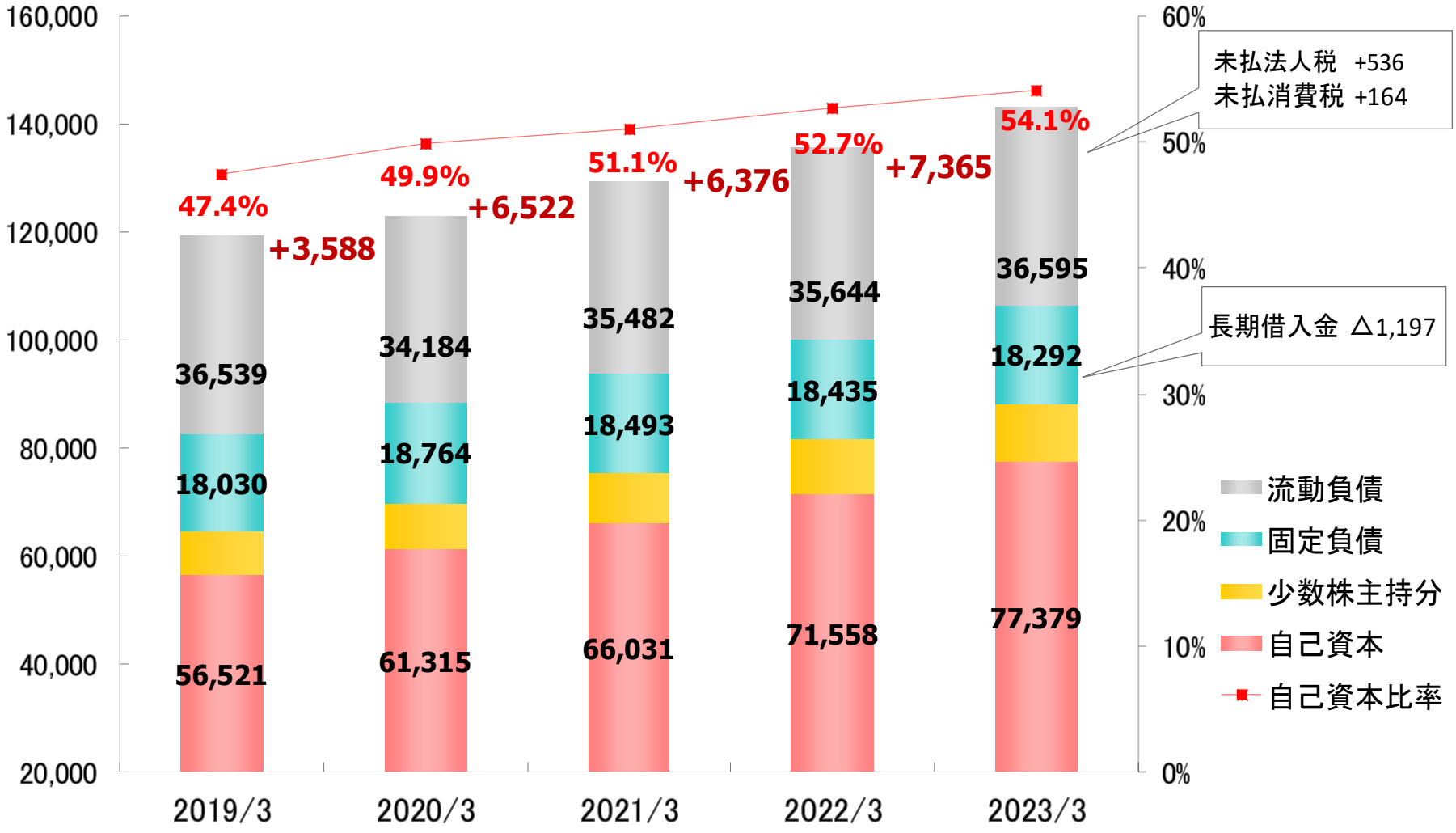


HAMAKYOREX

Ⅲ-5. 貸借対照表＜負債・純資産＞

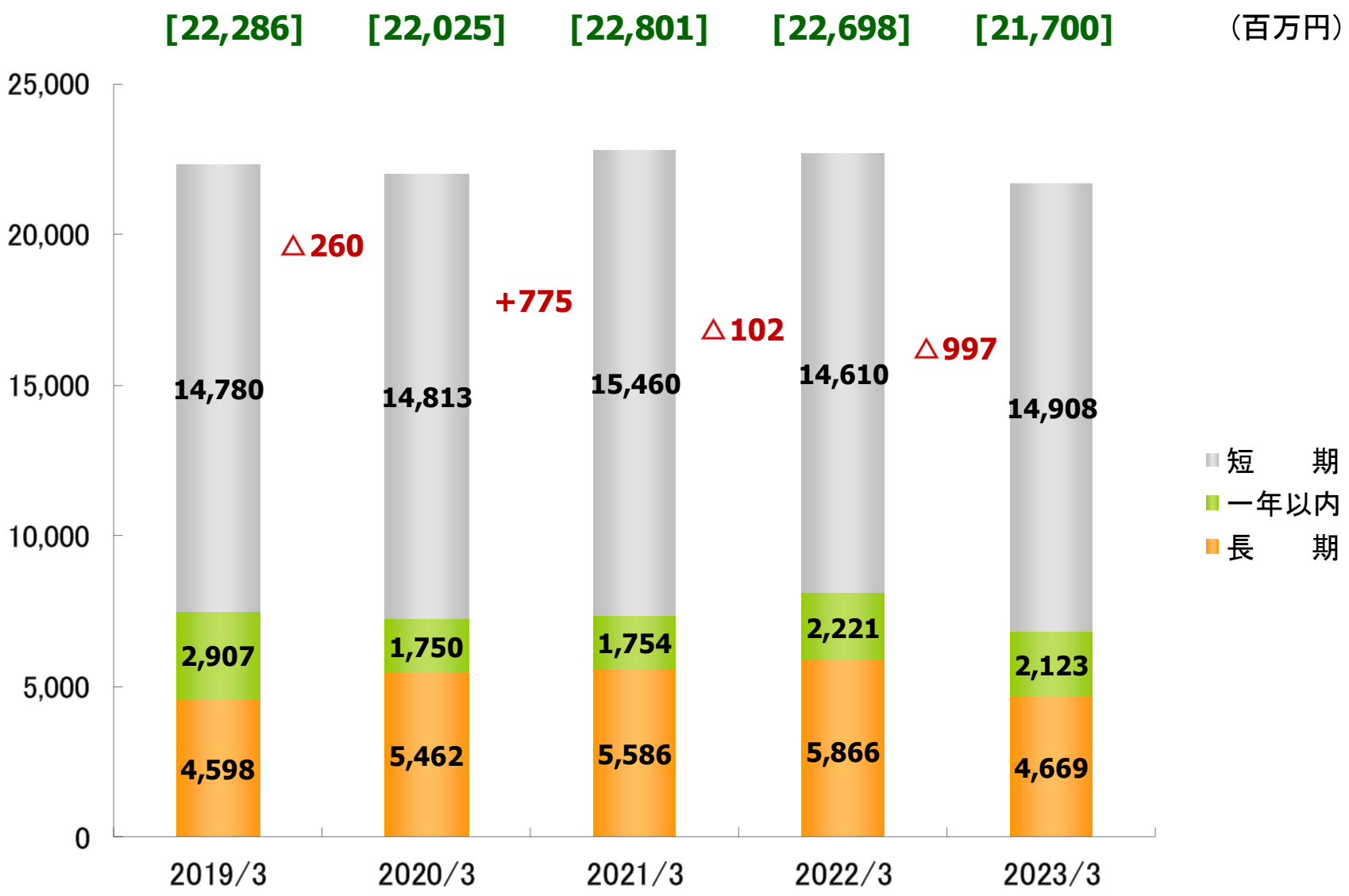
[119,184] [122,773] [129,295] [135,672] [143,038]

（連結：百万円）



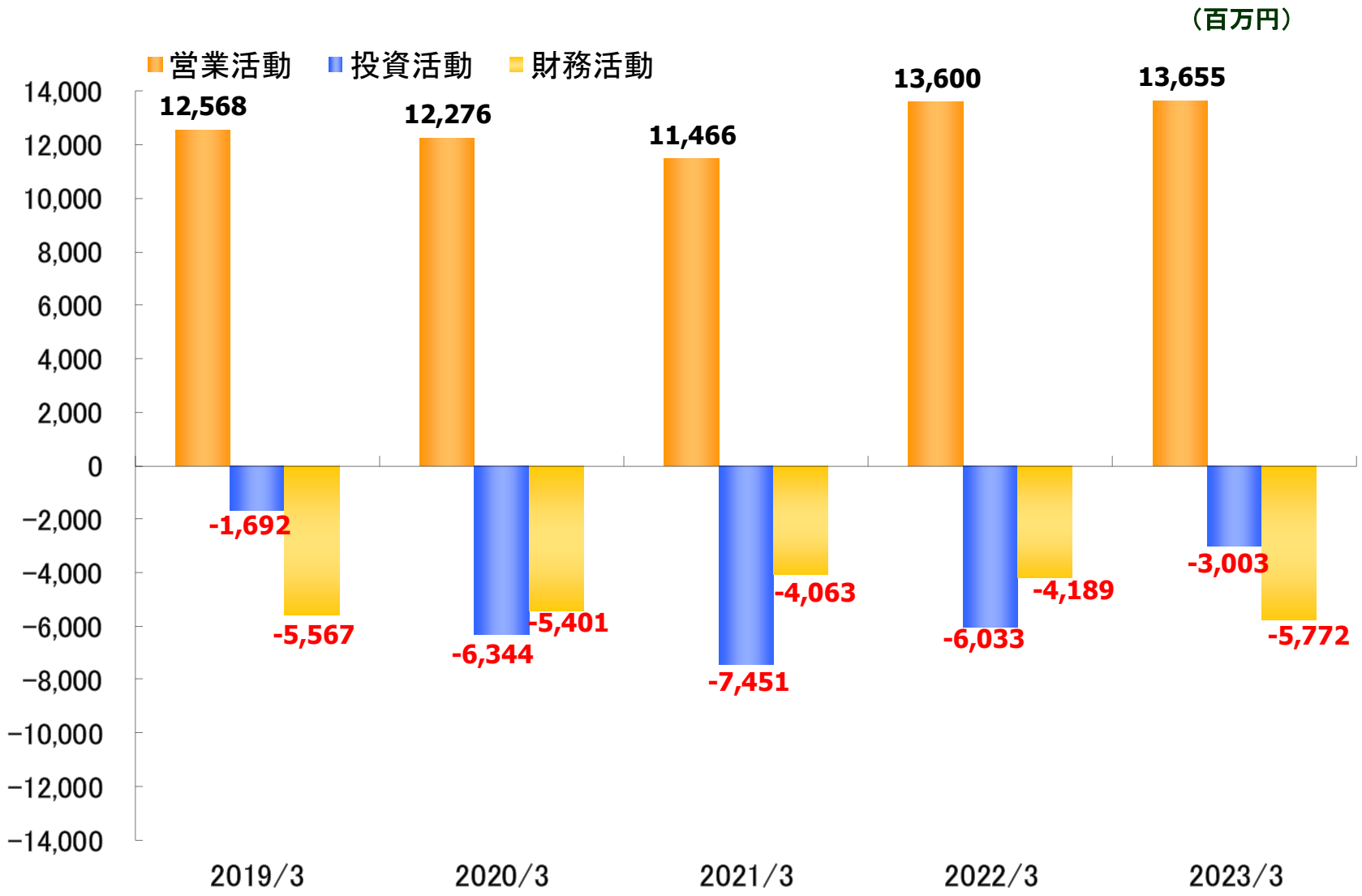
HAMAKYOREX

Ⅲ-6. 有利子負債（借入金）



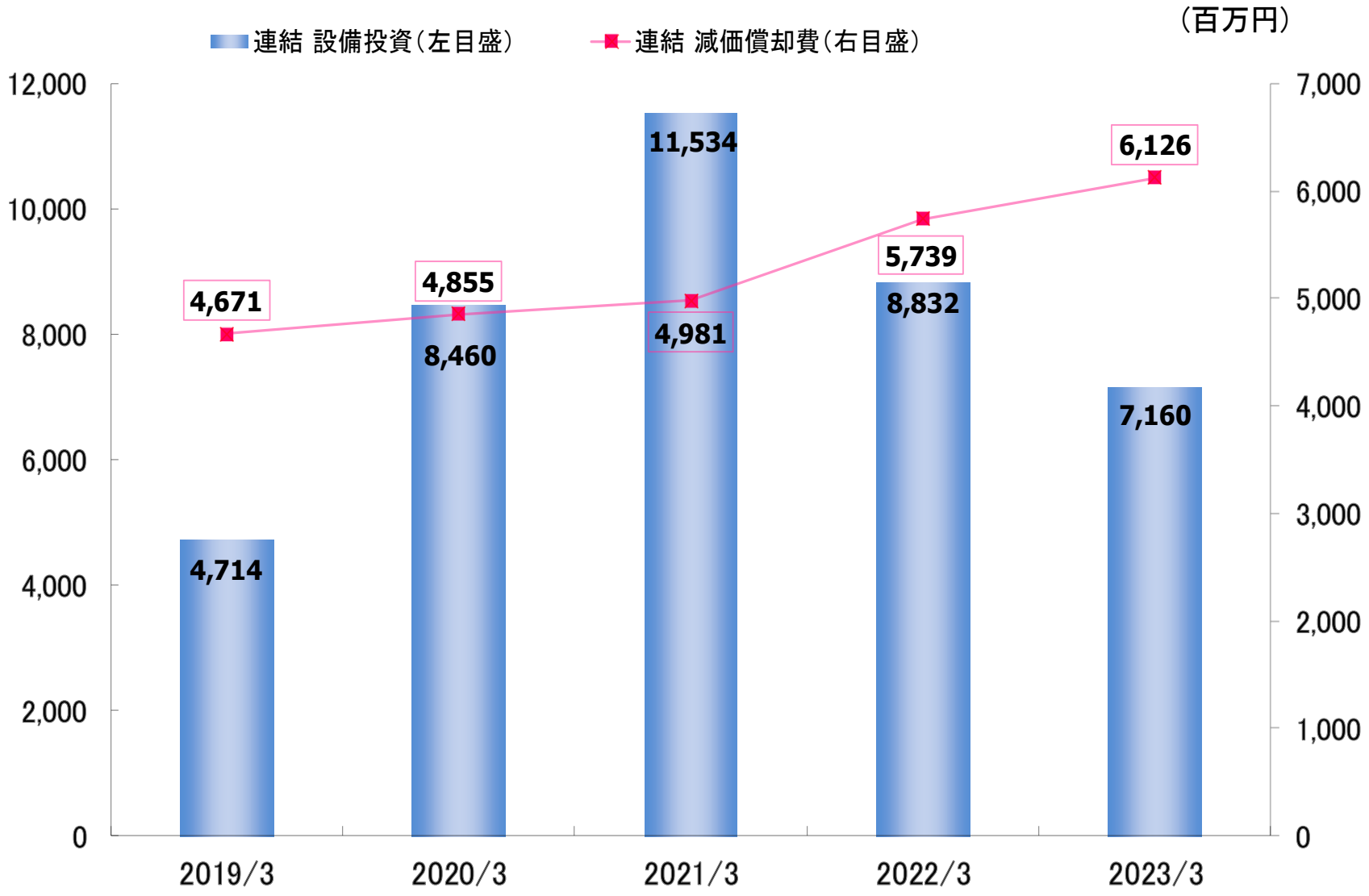
HAMAKYOREX

Ⅲ−7. キャッシュ・フロー



HAMAKYOREX

Ⅲ-8. 設備投資・減価償却費



HAMAKYOREX

IV. 近物レックスの現況と今後の戦略

Ⅳ-1. 近物レックス　２０２３年３月期業績

（百万円）

	実　績			
	2021/3	2022/3	2023/3	前期比 （増減率）
営業収益	36,377	36,973	37,179	+205 (+0.6%)
営業利益	1,282	1,041	561	△479 (△46.0%)
経常利益	1,300	1,151	665	△486 (△42.3%)

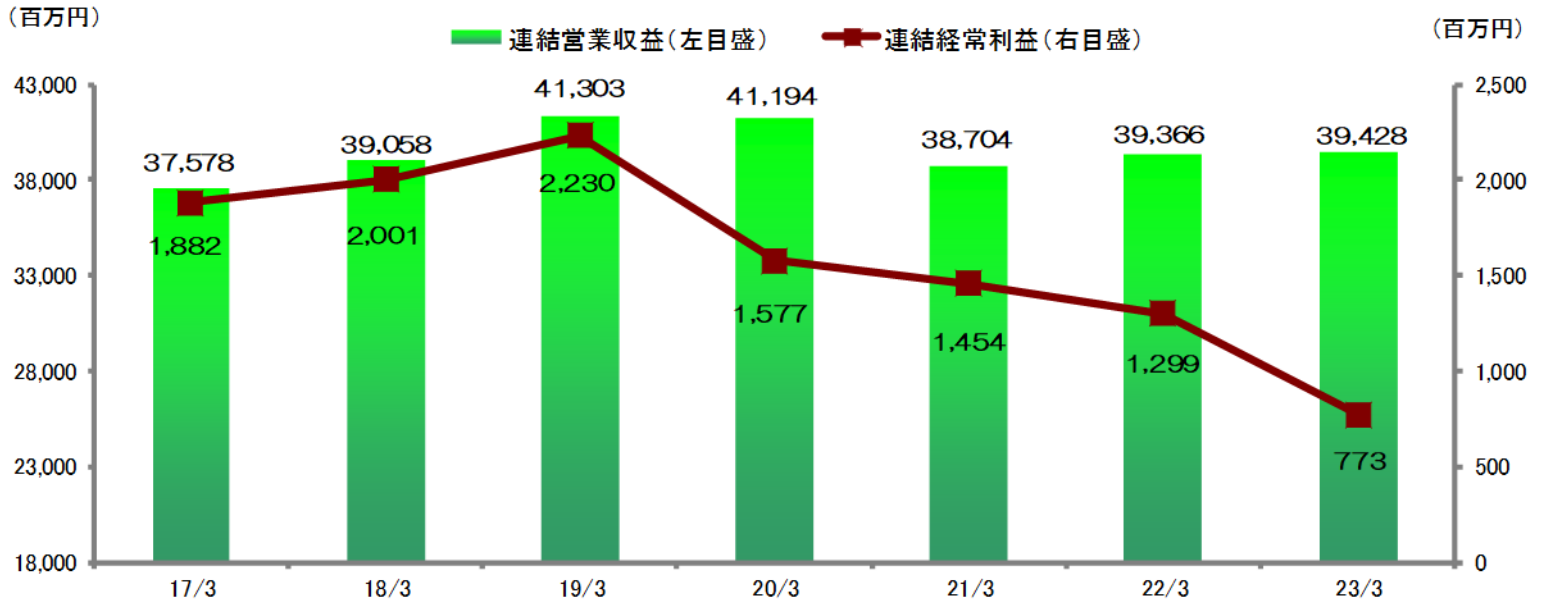
Ⅳ-2. 近物レックス　業績推移

（百万円）

	近物レックスグループ（連結子会社含む）						近物レックス単体	
	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	増減額（率）	2023/3	増減額（率）
営業収益	41,303	41,194	38,704	39,366	39,428	+62 (+0.2%)	37,179	+205 (+0.6.%)
営業利益	2,189	1,513	1,436	1,167	659	△508 (△43.5%)	561	△479 (△46.0%)
経常利益	2,230	1,577	1,454	1,299	773	△525 (△40.4%)	665	△486 (△42.3%)
当期純利益	1,476	1,164	954	884	497	△386 (△43.7%)	454	△352 (△43.7%)

※近物レックスグループ：近物レックスの直接子会社を含めた連結数値となります。

Ⅳ-3. 近物レックス収益構造



	連結業績	個別業績
営業収益	増収	増収
営業利益	減益	減益
経常利益	減益	減益
当期純利益	減益	減益

HAMAKYOREX

Ⅳ-4. 近物レックスの2022年度成果

1. 収益性の向上

・売上確保
・適正運賃収受
・内製化（効率化）
・EC（宅配）ネットワークの構築

2. 輸送の安全

・3大事故の撲滅（車輌・労災・商品）
・法令遵守

3. 雇用推進

・採用の強化（媒体選択・HP・紹介制度・動画作成・新卒採用）
・ドライバーの採用

4. 設備投資･その他

・設備投資（車輌・店舗建替）
・社内システムの更新
・借入返済

Ⅳ-5. 近物レックスの2023年度取組み

1.収益性の向上

・物量確保
・適正運賃収受
・内製化（効率化）
・ＢtoＣネットワークの構築

2.輸送の安全

・3大事故の撲滅（車輌・商品・労災）
・法令遵守

3.雇用確保

・採用強化（社員紹介制度・正社員募集）
・ドライバー確保

4.設備投資

・設備投資（車輌・店舗建替）
・社内システムの更新
・借入返済

V. 参考情報

Ⅴ-1. 経営理念

「物」に携わる者として、

「人と接するときは、心を込めて」
「仕事をするときは、初心を忘れず前向きに」
「物を扱うときは、心を込めて丁寧に」
「物を運ぶときは、心を込めて安全に」
「如何なるときにも感謝の心を大切に」

を基本テーマに取組んでおります。

Ⅴ-2. 経営方針

物流の役割は駅伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。
当企業グループは信頼に応えて効率的な事業活動の展開と継続的で質の高い成長を図り、お客様第一、品質第一を基本に、企業としての社会的責任を果たしてまいります。
また、短期的な収益にとらわれず、長期的な視点に立った経営を行い、３ＰＬ物流における質的内容の日本一を目指します。

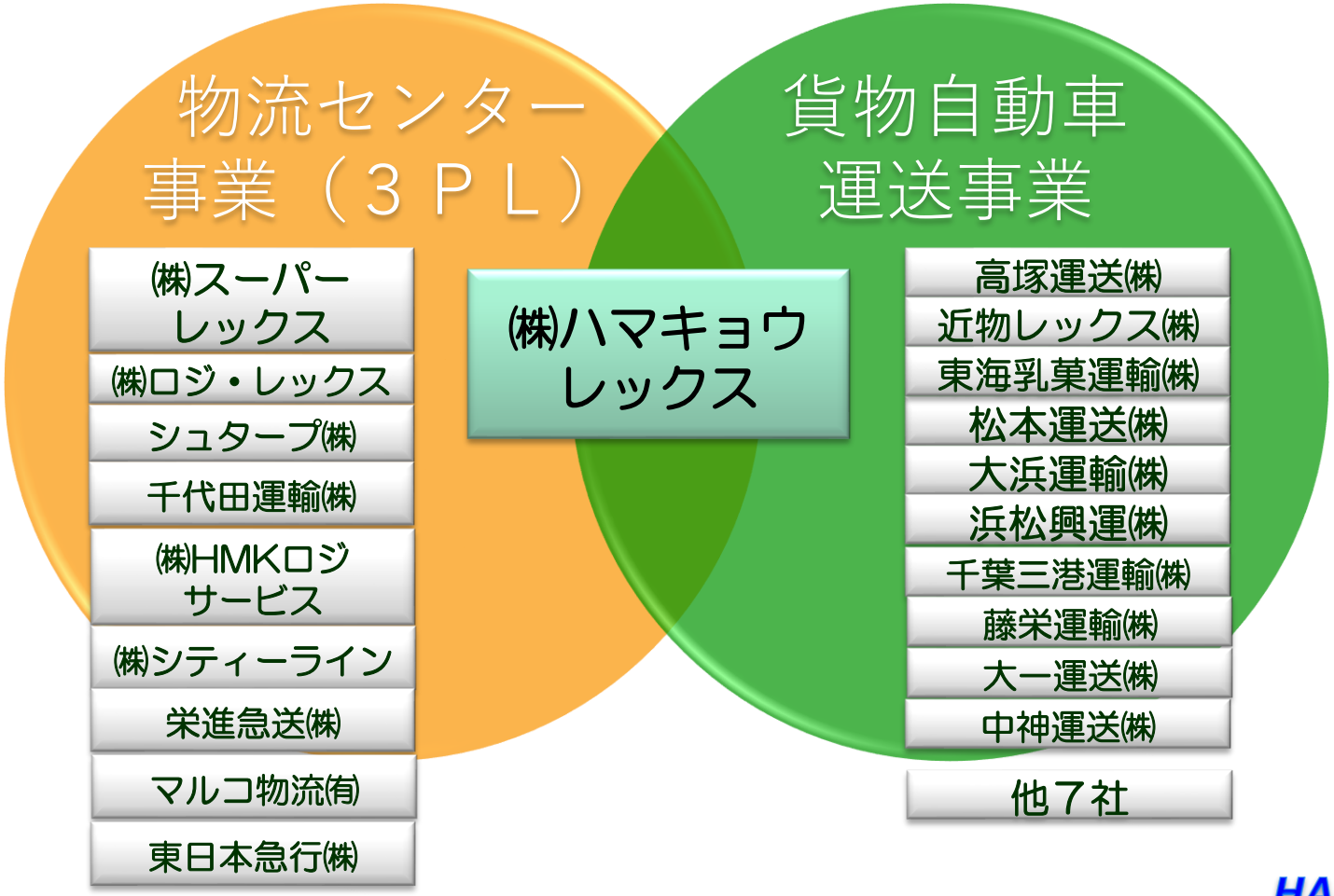
Ⅴ-3. プロフィール

会社概要（2023年3月31日現在）

社名	株式会社ハマキョウレックス (HAMAKYOREX CO., LTD.)
設立	1971年2月
資本金	65億47百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結 5,176名
発行済株式数	19,012,000株
株主数	4,079名
事業内容	物流センター事業（3PL）、貨物自動車運送事業
連結子会社	26社
売上高	連結　1,319億12百万円
経常利益	連結　　123億６百万円

Ⅴ-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業と貨物自動車運送事業を中心に
展開しております。



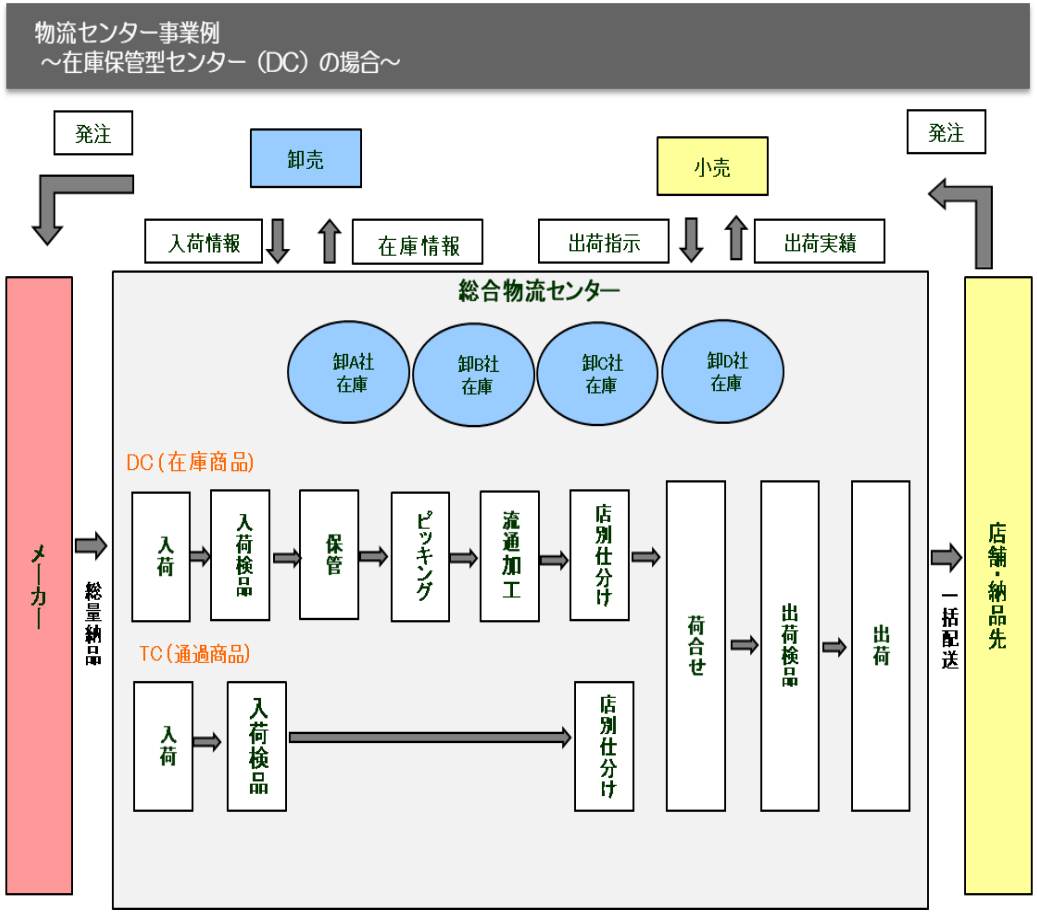
Ⅴ-6. 物流センター事業

当社は3PL(3rd Party Logistics)をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



HAMAKYOREX

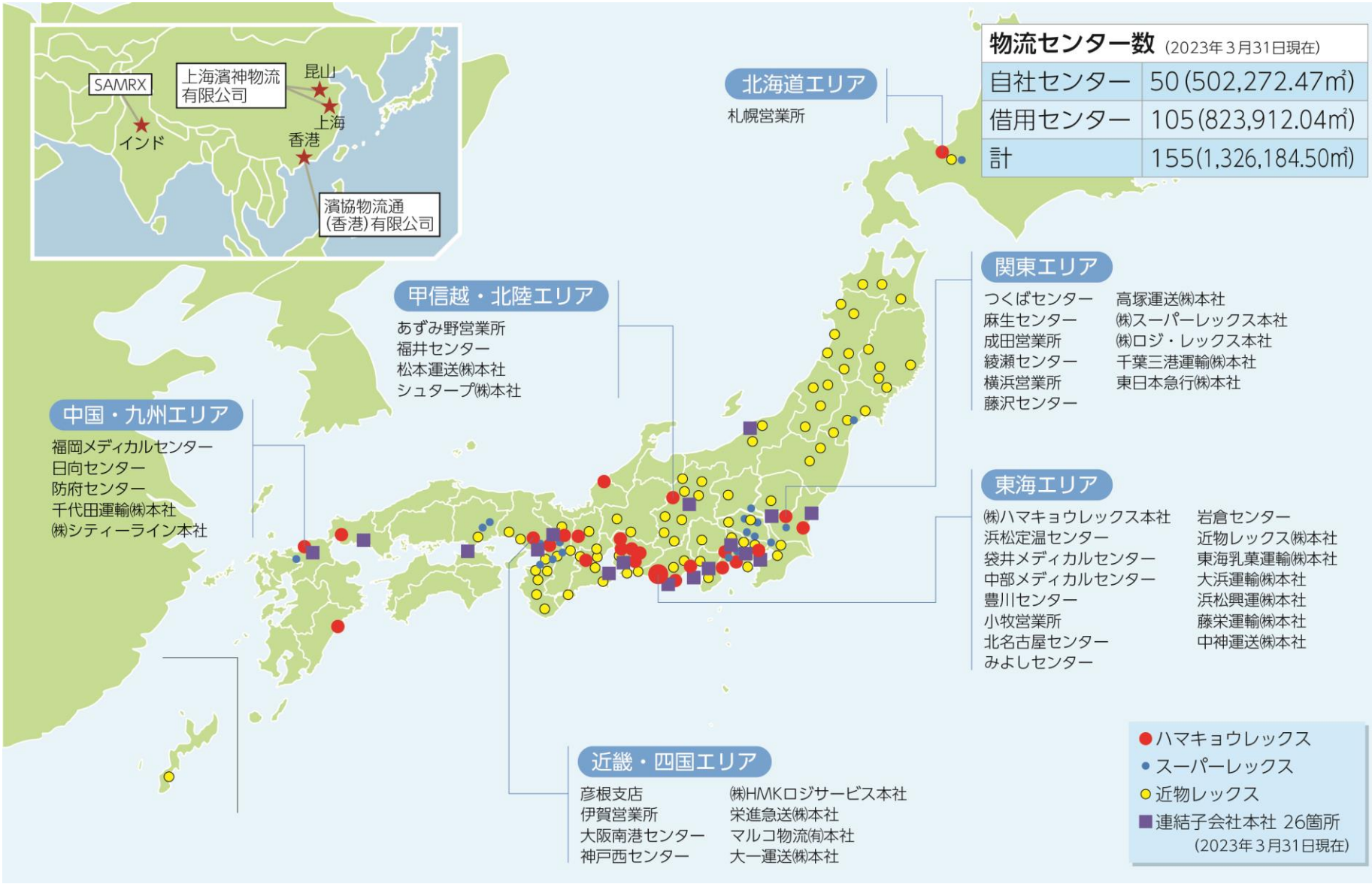
Ⅴ-7. 当社の特長・強み

コスト競争力
現場力

当社は、「コミュニケーション」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「全員参加」による現場主導での自社運営を実施。「日計収支※1」・「生産性向上」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

※1　日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

V-8. 拠点紹介



HAMAKYOREX

IR関係問合せ先・担当者

- 執行役員
  管理本部長兼経営企画室長　竹内　義之
- 経営企画室課長　河島　康男

  TEL 053-444-0054

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。